

9月定例会

一般会計
9億円の黒字決算!!

平成22年度決算を認定

| | | |
|--------------------|-------|--------------|
| 一般会計 | 歳入 | 167億7,297万円 |
| | 歳出 | 156億2,090万円 |
| 特別会計合計(公営企業局会計は除く) | 歳入 | 91億6,759万8千円 |
| | 歳出 | 90億448万9千円 |
| 公営企業局企業会計 | 収益的収入 | 40億9,980万5千円 |
| | 支出 | 45億7,049万5千円 |
| | 資本的収入 | 31億7,425万9千円 |
| | 支出 | 31億4,890万6千円 |

財政分析指標

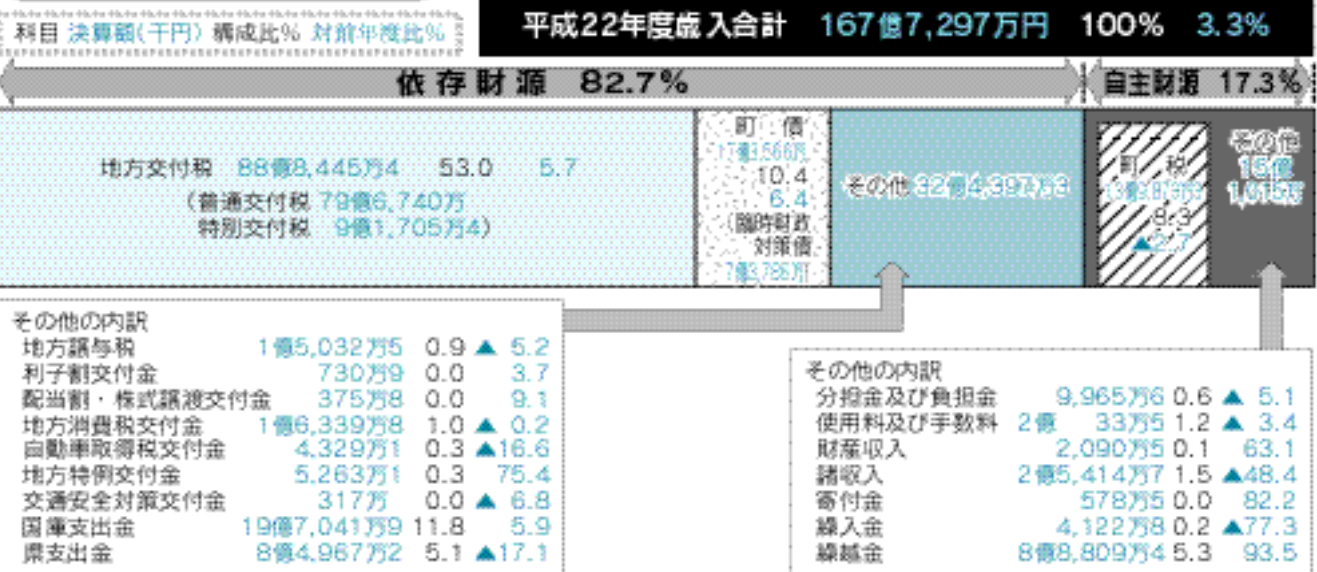
| | H22 | H21 | H20 |
|----------------|--------|--------|--------|
| 財政力指数 | 0.183 | 0.197 | 0.209 |
| 実質収支比率 | 8.7% | 4.6% | 3.7% |
| 経常収支比率 | 85.8% | 92.1% | 95.2% |
| 公債費負担比率 | 19.3% | 22.5% | 23.9% |
| 実質公債費比率(3カ年平均) | 17.7% | 19.7% | 20.8% |
| 実質公債費比率(単年度) | 14.9% | 18.1% | 20.1% |
| 将来負担比率 | 136.3% | 158.3% | 187.6% |

財政健全化へ一歩前進

平成22年度の一般会計・特別会計の総決算の歳入歳出差引額は、約13億1,517万円の黒字となっている。この収支から翌年度へ繰り越す額を差し引いた実質収支額は、約10億1,989万円(一般会計約9億1,460万円、特別会計約1億5,299万円)の黒字となっている。また、前年度の実質収支額約5億5,250万円を差し引いた単年度収支額は、約4億6,739万円(一般会計約4億5,285万円、特別会計約1,454万円)の黒字となっている。

次に、主要財政比率をそれぞれ前年度と比較してみると、良好な財政運営を行っているかどうかを示す実質収支比率は、前年度比4.1%増の8.7%、財政構造の弾力性を判断する指標の経常収支比率は、同6.3%減の85.8%、公債費による財政負担の程度を示す実質公債費比率は、同3.2%減の14.9%3ヶ年平均では、同2.0%減の17.7%となっている。いずれの指標も健全な財政運営へ向いており、大きく改善している。

歳入の状況(一般会計)



歳出の状況(一般会計)



Eye& 平成22年度の歳入総額は167億7,297万円となっている。歳出決算額は、156億2,090万9千円となっている。翌年度に繰り越すべき財源2億3,746万1千円を控除すると、実質収支額は、9億1,460万円の黒字となっている。この実質収支額から前年度実質収支額を控除した単年度収支額は、4億5,285万4千円の黒字となっている。

は、9億1,460万円の黒字となっている。この実質収支額から前年度実質収支額を控除した単年度収支額は、4億5,285万4千円の黒字となっている。